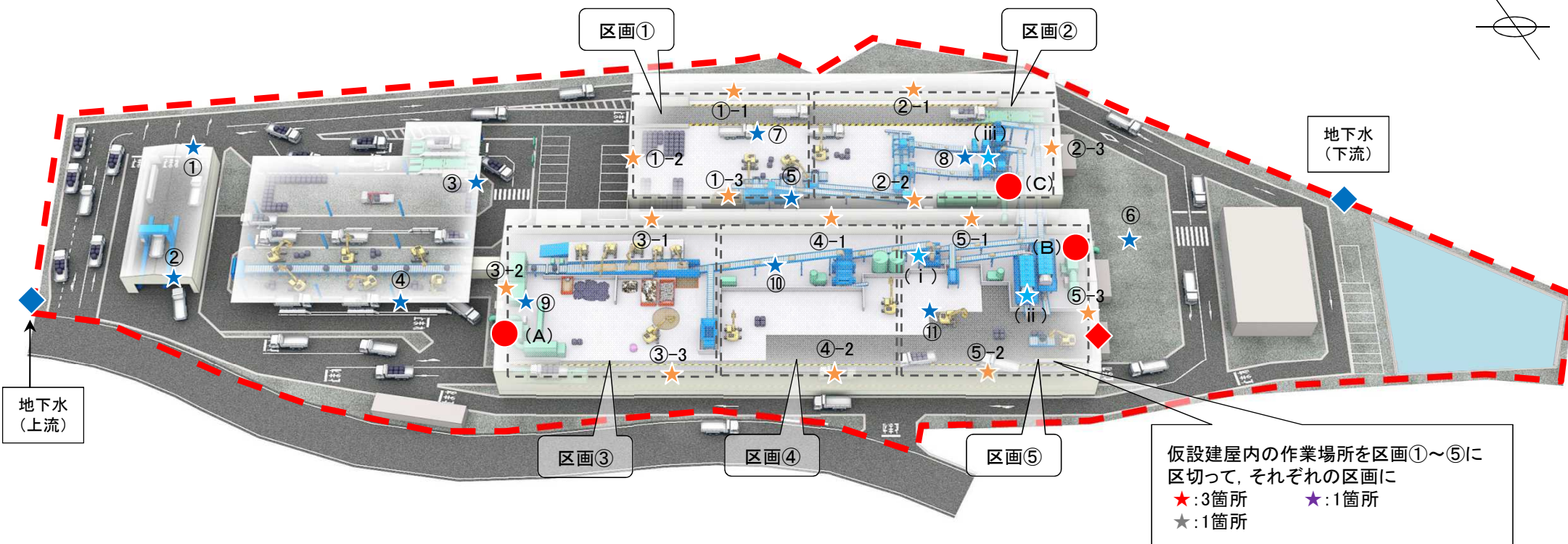
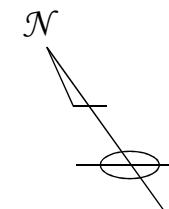


受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



【凡例】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- : 敷地境界線
- : 排気中の放射能濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- ◆ : 排水中の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)

★ : 施設の位置



受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2020/3/5	(稼働後)	12	4.5	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2020/3/5	(稼働後)	16	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/3/5 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.7
①-2	1.1
①-3	1.0
②-1	1.0
②-2	1.0
②-3	0.8
③-1	0.7
③-2	1.0
③-3	1.4
④-1	1.9
④-2	2.9
④-3	2.5
⑤-1	3.2
⑤-2	4.0
⑤-3	2.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/12 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.19
②	0.23
③	0.22
④	0.30
⑤	0.20
⑥	0.20
⑦	0.40
⑧	0.22
⑨	0.15
⑩	0.40
⑪	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/3/12 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2020/2/6	(稼働後)	17	4.4	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2020/2/6	(稼働後)	16	13	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/2/6 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.1 Bq/m³、ドレン部： 0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/7 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.6
①-2	0.8
①-3	0.6
②-1	1.1
②-2	1.0
②-3	0.9
③-1	0.5
③-2	1.1
③-3	1.1
④-1	1.7
④-2	2.0
④-3	2.6
⑤-1	1.9
⑤-2	1.5
⑤-3	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/17 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.20
②	0.20
③	0.42
④	0.34
⑤	0.22
⑥	0.17
⑦	0.30
⑧	0.17
⑨	0.15
⑩	0.33
⑪	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/17 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	1.6×10 ⁻⁷
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/2/17 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2020/1/9	(稼働後)	12	5.0	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2020/1/9	(稼働後)	16	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/1/9 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2020/1/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/10 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.6
①-2	0.7
①-3	0.6
②-1	0.5
②-2	0.5
②-3	0.5
③-1	1.3
③-2	0.9
③-3	0.8
④-1	0.9
④-2	0.7
④-3	0.5
⑤-1	1.8
⑤-2	0.9
⑤-3	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/15 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.23
②	0.21
③	0.23
④	0.35
⑤	0.16
⑥	0.24
⑦	0.32
⑧	0.20
⑨	0.14
⑩	0.28
⑪	0.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/15 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/1/15 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/12/5	(稼働後)	12	5.3	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/12/5	(稼働後)	15	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/12/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.6
①-2	0.7
①-3	0.8
②-1	0.9
②-2	1.1
②-3	0.9
③-1	1.2
③-2	1.3
③-3	1.7
④-1	2.2
④-2	4.2
④-3	5.0
⑤-1	6.9
⑤-2	5.4
⑤-3	5.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/16 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.21
②	0.22
③	0.25
④	0.27
⑤	0.22
⑥	0.23
⑦	0.37
⑧	0.21
⑨	0.13
⑩	0.16
⑪	0.27

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/16 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/12/16 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/11/7	(稼働後)	11	4.9	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/11/7	(稼働後)	15	13	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/11/7 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2019/11/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	1.0
①-2	1.5
①-3	1.4
②-1	1.1
②-2	1.1
②-3	0.9
③-1	0.8
③-2	1.1
③-3	0.9
④-1	1.7
④-2	2.0
④-3	2.2
⑤-1	3.0
⑤-2	2.9
⑤-3	3.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/21 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.20
②	0.20
③	0.21
④	0.19
⑤	0.20
⑥	0.22
⑦	0.36
⑧	0.17
⑨	0.14
⑩	0.21
⑪	0.55

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/21 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	1.5×10 ⁻⁷

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/11/21 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/10/3	(稼働後)	11	4.6	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/10/3	(稼働後)	15	13	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/10/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.7 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/10/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.6
①-2	0.9
①-3	1.2
②-1	2.6
②-2	2.3
②-3	2.5
③-1	2.5
③-2	1.7
③-3	2.1
④-1	3.0
④-2	2.7
④-3	2.4
⑤-1	2.7
⑤-2	2.0
⑤-3	2.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.24
②	0.30
③	0.23
④	0.21
⑤	0.22
⑥	0.23
⑦	0.37
⑧	0.23
⑨	0.17
⑩	0.20
⑪	0.26

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/9 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/10/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/9/5	(稼働後)	11	4.6	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/9/5	(稼働後)	14	13	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/9/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/9/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	1.4
①-2	1.7
①-3	2.4
②-1	2.5
②-2	2.0
②-3	2.0
③-1	1.5
③-2	1.5
③-3	1.9
④-1	2.4
④-2	2.8
④-3	2.9
⑤-1	3.6
⑤-2	3.2
⑤-3	3.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.26
②	0.30
③	0.36
④	0.24
⑤	0.21
⑥	0.25
⑦	0.58
⑧	0.21
⑨	0.27
⑩	0.18
⑪	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/9/11 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/8/1	(稼働後)	11	4.3	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/8/1	(稼働後)	13	11	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/8/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/8/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	1.5
①-2	2.2
①-3	2.5
②-1	2.1
②-2	1.7
②-3	1.7
③-1	1.6
③-2	1.5
③-3	2.2
④-1	2.8
④-2	3.4
④-3	3.2
⑤-1	2.8
⑤-2	2.6
⑤-3	2.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.25
②	0.28
③	0.22
④	0.23
⑤	0.28
⑥	0.23
⑦	0.69
⑧	0.23
⑨	0.18
⑩	0.15
⑪	0.42

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/8/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/7/4	(稼働後)	11	4.5	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/7/4	(稼働後)	13	10	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/7/3 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2019/7/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.5
①-2	0.7
①-3	1.0
②-1	3.1
②-2	2.6
②-3	2.9
③-1	1.9
③-2	1.6
③-3	2.2
④-1	2.9
④-2	2.9
④-3	4.4
⑤-1	2.8
⑤-2	2.0
⑤-3	2.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/12 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.25
②	0.30
③	0.51
④	0.28
⑤	0.29
⑥	0.25
⑦	0.74
⑧	0.22
⑨	0.19
⑩	0.26
⑪	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/12 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/7/12 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/6/6	(稼働後)	13	4.6	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/6/6	(稼働後)	14	10	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/6/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m³、ドレン部：1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	1.0
①-2	1.2
①-3	1.2
②-1	1.0
②-2	1.4
②-3	0.7
③-1	2.2
③-2	1.9
③-3	2.1
④-1	2.2
④-2	1.8
④-3	2.5
⑤-1	0.8
⑤-2	1.0
⑤-3	1.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/20 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.21
②	0.21
③	0.40
④	0.35
⑤	0.26
⑥	0.20
⑦	0.95
⑧	0.30
⑨	0.18
⑩	0.26
⑪	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/20 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/6/20 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
⑤-3	ND	
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/5/9	(稼働後)	12	4.3	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/5/9	(稼働後)	13	9.2	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/5/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m³、ドレン部：1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/24	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.9
①-2	0.9
①-3	1.1
②-1	2.2
②-2	1.2
②-3	1.4
③-1	0.8
③-2	1.3
③-3	1.9
④-1	2.2
④-2	2.1
④-3	2.2
⑤-1	0.5
⑤-2	0.6
⑤-3	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.21
②	0.20
③	0.24
④	0.28
⑤	0.36
⑥	0.27
⑦	0.68
⑧	0.21
⑨	0.16
⑩	0.36
⑪	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/23 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/5/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
⑤-3	ND	
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日 \ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7 (稼働前)	12	5.1	ND
	2019/4/4 (稼働後)	13	4.7	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)	11	7.2	ND
	2019/4/4 (稼働後)	13	9.9	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/4/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m³、ドレン部：1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20＋セシウム137の濃度／30≦1

◆排水中の放射能濃度

測定日 \ 測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/10 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①-1	0.9
①-2	1.8
①-3	1.6
②-1	1.4
②-2	1.2
②-3	1.2
③-1	0.8
③-2	1.0
③-3	1.1
④-1	1.7
④-2	1.7
④-3	1.9
⑤-1	0.9
⑤-2	0.8
⑤-3	1.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.23
②	0.27
③	0.60
④	0.20
⑤	0.24
⑥	0.28
⑦	0.46
⑧	0.19
⑨	0.21
⑩	0.19
⑪	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/23 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／ 2×10^{-3} ＋セシウム137の濃度／ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/4/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²